

社会安全政策研究所活動ニュース

本研究所が 2016 年 1 月から 2016 年 12 月までに行った主な研究活動は、以下のとおりです。

I. 共同研究 (A)・「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」の実施

「司法から福祉へつなぐダイヴァージョン研究会」を 2016 年も継続して実施し、特に「入口」支援の取組みに焦点を当て研究会を開催しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

活動報告：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/teichakuken_report_2015.html

II. 共同研究 (B)・独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業の基盤研究 (B)「非行少年・犯罪者に対する就労支援システムの展開可能性に関する考察」の実施

2015 年度より開始された独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業の基盤研究 (B)「非行少年・犯罪者に対する就労支援システムの展開可能性に関する考察」を共同研究 (B) として 2016 年も継続して実施しました。

2016 年 3 月にはフランスを訪問し、ジャルダン・ド・コカーニュ等の参観ならびに意見交換会を実施しました。また、同年 9 月にはフィンランドを訪問し、「社会的弱者に対する就労支援団体等」の参観ならびに担当者との意見交換会を実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

概要：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kaken_15H03297_index.html

活動報告：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kaken_15H03297_report_2015.html

Ⅲ. 共同研究 (C)・早稲田大学特別研究助成「知的障害・発達障害少年の学校卒業後の就労支援システムの現状と課題」の実施

2016 年度の早稲田大学特定課題研究助成費・特定課題 A (一般助成) に「知的障害・発達障害少年の学校卒業後の就労支援システムの現状と課題」が採択され、共同研究 (C) として開始しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

概要・活動報告：

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/tokuteikadai2015.html>

Ⅳ. 共同研究 (D)・独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業の若手研究 (B)「重大な触法少年事件防止のための多機関連携のあり方に関する実証的研究」の実施

2015 年度より開始された独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業の若手研究 (B)「重大な触法少年事件防止のための多機関連携のあり方に関する実証的研究」を共同研究 (D) として 2016 年も継続して実施しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

概要：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kaken_15K16947_index.html

活動報告：

http://www.waseda.jp/prj-wipss/kaken_15K16947_report_2015.html

Ⅴ. 共同研究 (E)・「英米少年法研究」の実施

「英米少年法研究会」は 2016 年度も継続して実施し、前年度に引き続き Susan Guarino-Ghezzi & Edward J. Loughran, “Balancing Juvenile Justice” の翻訳作業を行いました。

VI. 共同研究 (F)・「外国人集住都市問題研究会」

本研究所では、2013 年に警察政策学会から「国際都市新宿治安研究会」の設置が承認され、以来 3 年間にわたり研究を行ってきましたが、2015 年 4 月に当研究を継続発展させるべく、本研究所内部に「外国人集住都市問題研究会」を発足させました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/index.html>

VII. 日本更生保護学会第 5 回大会におけるシンポジウムの開催

2016 年 12 月 10 日（土）・11 日（日）に早稲田大学早稲田キャンパスにおいて日本更生保護学会第 5 回大会が開催され、10 日には WIPSS との共催によりシンポジウムが行われました。

基調講演では、ジャン・ギィ・ヘンケル氏（ジャルダン・ド・コカーニュ代表）が「ジャルダン・ド・コカーニュにおける就労支援について～『犯罪を行った者』に対する就労支援を中心に～」をテーマに講演を行いました。また、南谷桂子氏（ワインと文化社代表取締役）に解説していただきながら、ジャルダン・ド・コカーニュに関連する映像を上映しました。

『『犯罪を行った者』を雇用するソーシャルファームの日本における展開可能性』をテーマとしたシンポジウムでは、石川所長がコーディネーターとなり、多角的な視点からパネルディスカッションが行われました。シンポジウム第 1 部では、シンポジストの各団体・企業で実施又は構想している事業について紹介が行われ、第 2 部では、ソーシャルファームに関する政府の政策の方向性が報告されました。シンポジウムの最後に、ヘンケル氏がフロアー

からの質問に応答するとともに、生島浩氏（WIPSS 招聘研究員）がシンポジウムの総括を行いました。

なお、本大会では、10 日に 306 名、11 日に 251 名が参加し、2 日間で延べ 557 名の方が参加しました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.waseda.jp/prj-wipss/kouseihogo.html>

<主催者挨拶をされる石川正興 WIPSS 所長>



<基調講演をされるジャン・ギィ・ヘンケル氏>



<映像の解説をされる南谷桂子氏>



<シンポジウム登壇者からの報告の様子>



VIII. 第 21 回早稲田矯正保護展の開催

2016 年 12 月 1 日 (木) に, 社会安全政策研究所を主催団体の一つとして, 第 21 回早稲田矯正保護展 (テーマ: 「非行少年・若年犯罪者に対する就労支援～再犯・再非行防止に向けて～」) が開催されました。

詳細は下記 URL をご参照ください。

http://www.waseda.jp/prj-wipss/hogoten_report_2016.html

IX. 定例研究会の開催

本研究所では、第9期（2016年1月から2016年12月まで）として計6回の定例研究会を開催しました（原則として報告者は2名で、奇数月の最終土曜日に開催）。

報告タイトルと報告者は、以下のとおりです（肩書は当時のものを掲載）。

1. 第50回定例研究会（2016年1月30日開催）

- (1) 「少年法と『入口支援』—少年年齢引下げ問題に関連して—」
吉開 多一 招聘研究員（国士舘大学法学部教授）
- (2) 「少年院の現状と課題—少年院法の改正を受けて—」
鷺野 薫 招聘研究員（更生保護法人両全会企画室長）

2. 第51回定例研究会（2016年3月19日開催）

- (1) 「私の朝鮮半島研究—回顧と展望」
重村 智計 研究所員（国際学院教授）
- (2) 「私の少年法研究—回顧と展望」
渡辺 則芳 招聘研究員（国士舘大学法学部教授）

3. 第52回定例研究会（2016年6月4日開催）

- (1) 「刑事事件における社会復帰支援の取り組み」
小林 良子 招聘研究員（東京地方検察庁社会復帰支援室社会福祉アドバイザー）
- (2) 「触法障害者の地域生活支援～窃盗防止プログラムを中心に～」
生島 浩 招聘研究員（福島大学大学院人間発達文化研究科教授）

4. 第53回定例研究会（2016年7月30日開催）

- (1) 「明治前期における『浮浪・乞食』の福祉的処遇—わが国における労働者陶冶の試みを探って—」

副島 望 招聘研究員（文教大学非常勤講師）

(2) 「刑事司法における薬物依存治療プログラム」

丸山 泰弘 招聘研究員（立正大学法学部准教授）

5. 第 54 回定例研究会（2016 年 9 月 24 日開催）

(1) 「発達障害を有する非行少年・不良行為少年に対する法的対応策の考察」

宍倉 悠太 招聘研究員（国士舘大学法学部専任講師）

(2) 「両全会で実施しているリ・コネクトプロジェクトについて」

藤野 京子 研究所員（文学学術院教授）

6. 第 55 回定例研究会（2015 年 11 月 26 日開催）

(1) 「保護司活動の過去・現在・展望—38 年間の保護司活動を終えて」

坂本 悠紀子 招聘研究員（新宿区更生保護女性会会長、元新宿区保護司会保護司）

(2) 「テロリズムの『定義』にみる法的対応への課題」

皆川 誠 招聘研究員（名古屋学院大学法学部専任講師）

X. 研究員の異動

本研究所では、以下の研究員の新規嘱任がありました（2016 年 7 月から 2017 年 6 月まで。50 音順）。

1. 研究所員

石田 咲子（法学学術院助手）

2. 招聘研究員

川瀬 恵子（税務大学校東京研修所非常勤講師）

小長井 賀典（立教大学コミュニティ福祉学部教授）

高屋 友里（神戸大学大学院法学研究科非常勤講師）

千田 早苗（最高検察庁検察改革推進室調査第二係長）

藤江 大輔（一般社団法人日本通信教育学園評議員）

※なお，本研究所の活動につきましては，本研究所のホームページもご参照
下さい（URL: <http://www.waseda.jp/prj-wipss/>）。